

2015年度しょうえい幼稚園自己評価表 学校法人沼津頌栄学園 しょうえい幼稚園

評価者 園長 石川 望・教職員10名

1 経営理念

経営理念	キリスト教保育 創造(自由)保育(統合保育)	あそび・あそぶ・あそぼうから創造(自由)保育へ —みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—
------	---------------------------	------------------------------------------------

2 経営目標・評価項目・評価

☆評価基準 よくできている ◎ できている ○ あまりできていない △ 全くできていない ×

経営目標	評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見	
つな が る 基 礎	1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。	教師は礼拝・お祈りを楽しい中にも静かに行い、子どもたちの心を落ち着かせる。	3	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めは難しかったが、年度末でやっと○になった。 ・月初めにはみんなで聖書のことばの意味を考える時を持つように心がけた。 ・礼拝前に歌を歌ったり、絵本を読んだりと落ち着いて行えるように工夫した。 ・まだ礼拝が難しい学年だが、お祈りは取り入れている。 ・食前、おやつ前にお祈りをする。 ・最初はお祈りのみ→讃美歌1曲→聖書のことばと少しずつ増やしていった。言葉遊びゲームのように聖書のことばを覚えた。 ・お心を静かにし、お休みしているお友だちやおうちの方を思い、お祈りした。聖書の言葉についても考えを深めた。 ・落ち着かない場面を少なくしたい。導入や静かな雰囲気作りなど、工夫する。 ・合同礼拝では良いお手本が目の前にいることで落ち着いてお祈りできるようになった。 	・引き続き努力してください。
	教師は、子どもたちが自由遊び後、スムーズに片づけられるよう促す。	1	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びの長さや、子どもの満足度による。 ・コーナー保育で片付けがしやすくなった。 ・一人ひとりが楽しみながらお片付けができるような声掛けをするよう工夫した。 ・張り切って掃除をしてくれるお友だちを沢山認めたり、時間(目標)を一緒に決めて行くとスムーズにできるようになった。 ・片付けの歌を歌ったり、個々の名前をだしてお願いね!と声を掛けたりしている。 ・できているお友だちも多いが、もっと遊びたい気持ちが強い子への声掛けが難しかった。 ・メリハリやリズムをつけてもっとスムーズにしたい。具体的な楽しいことが片付けの後にわかっているとよい。 	・具体的なやり方が明確なので良いと思います。引き続きお願いします。	
	教師は、子どもたちが園生活のきまりが身に付くように援助すると共に、遊びを通して信頼関係を築く。	2	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・先生がいつも見てくれているという安心感が子どもたちにあるか。 ・子どもたちの思いや意見をよく聞いて、色々な遊びを展開する工夫をした。 ・子どものアイデア、発したつぶやきを広げるように心掛けた。 ・子どもがどんな気持ち、思いをかかえているのかを知り、しっかりと受け止めるよう気をつけた。 	・子どもたちの意見を受け止めてくれている所が良いと思います。	
	教師は子どもたちが保護者と離れる寂しさや友だちとけんかした時の悲しさ、その他様々な気持ちや思いを受け止め、共感する。	2	9			<ul style="list-style-type: none"> ・抱っこをして気持ちが落ち着くようにしていった。 	・引き続き工夫してください。	
	教師はできるだけ毎日絵本の読み聞かせをする。	7	4			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日読むよう心掛けた。行事前なども落ち着いて読めるようにしたい。 ・1日1回必ず絵本を読むようにした。子どもたちの興味のあるもの、好きなものを積極的に読んだ。 ・毎日の読み聞かせて絵本が始まると聞き入れるようになった。 	・よくできていると思います。	
	教師は、絵本の貸し出しや絵本の読み聞かせを通し、子どもたちがたくさんの絵本と出会うよう努める。	9	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・一日2冊は読んでいます。クラスで読んだ本を子どもたちが気に入って、借りることが増えてとてもうれしいです。 ・絵本に触れる機会を増やしたい。 ・読んだ絵本が絵本の部屋にもあるよ、など伝え貸し出しの際困っている子どもと一緒に探す。 	・よくできていると思います。	
	教師は、子どもたちがお集まりや活動に積極的に参加できるよう促す。	3	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのアイデアを聞いて、遊びを展開したり、おうちごっこ、さかなつりなど大人数で楽しめる遊びを沢山した。 ・好きな手遊びで集中させたり、絵本で導入するようにした。 ・自らやってみたいと思えるように言葉がけに気を付けた。 	・積極的に参加でさせることが出来ていて良いと思います。	
	教師は、子どもたちが遊びや活動を通し、たくさんの友だちとふれあい、仲を深めるよう支援する。	3	8			<ul style="list-style-type: none"> ・お友達同士の間に入り、お互いの気持ちを伝え、一緒に遊ぶ中で気持ちを共有する。 	・引き続きお願いします。	

ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師は、子どもたちが動物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じるよう見守る。		5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みの時の世話が無責任になってしまう。 ・動物のお世話当番を忘れてしまうことがあったので、当番表をつくり、次のクラスに回していくとよいと思う。 ・なかなかそのような機会もなかったので、あまりできていないように思う。 ・動物の世話を忘れずに子どもたちとしてほしい。 ・うさぎ、チャボ、アヒル当番を通して、動物に興味・関心を持つお友だちが多かった。 ・ダンゴムシやカマキリなどをお部屋で飼い、ご飯をあげたり、成長を楽しんだり、死んでしまった時みんなで大切に埋め、命の大切さをみんなで感じた。 	・学年ごとで責任をもって飼うようにしてください。	
		教師は、絵本などを通して子どもたちが平和への思いを強められるよう努める。		6	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ではあまり選ばなかったテーマの本（戦争や平和）も園長先生に勧めていただき、読むようになった。 ・平和についての絵本は少し難しいと思うことがあった。 	・当たり前に行っていることが平和だということを教えてほしいと思います。	
		教師はそれぞれのこどもの発達に合わせ適切な対応・指導ができるよう学び合う。	2	9		<ul style="list-style-type: none"> ・柳詰先生に沢山のアドバイスやお話を聞いて良かった。 ・こどもとのコミュニケーション・スキンシップを沢山とるように心がけた。 ・もっと学んでいきたいと思う。 ・クラスの教師とは、情報交換しながら相談し合うことができていると思う。 ・急な変更戸惑う子どもには決まった時に先にお話をするよう気を付けた。 	・引き続きお願いします。	
		教師は、子どもたちが自分の意見や考えを出すことができるよう受け止め、同時にお友だちの意見を聞いたり思いを感じるよう促す。	1	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お友だちの意見を聞きあう時間を設けた。 ・十分受け入れず、励ますだけの時もあった。 ・一人ひとり思いがあるので、大切にお互いの気持ちを伝えたり考えを聞いたりするよう気を付ける。 	・言いやすい先生と言いつらい先生もいるかもしれないので、どんな意識を持っているのか話し合ってみるのも良いと思います。	
信頼される幼稚園	1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ちあう関係を作る。	園は、しょうえいだより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	11			・クラスの様子を伝えることができた。	・小学校との連携や避難訓練の様子などをもう少し載せるよう心掛けていってほしいと思います。	
		園は学期に1回保育参観を行う。	10	1			引き続きお願いします。	
		保護者への講演会を年1回行う。	9	2			引き続きお願いします。	
		園はホームページ・フェイスブックで広く幼稚園を公開する。	6	4	1		FBやtwitterをもう少し多くの方に楽しんでほしい。反応が薄いように思う。	・私たちも見るようにしていきたいです。
		保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	2	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子をバスや連絡帳でこまめに伝える事を心掛けた。 ・送迎の時に必ず保護者と話すようにしている。 ・バス登園のこどもはなかなか取りづらい時もあった。連絡帳で伝え合う。 ・送迎時等に子どもの様子を話すよう努めた。 	・引き続きお願いします。
		園の行事を無理なく円滑に行う。	4	6	1		・保護者の方も手伝ってくれる方が多く、楽しくできた。	・引き続きお願いします。
		支援センターともだちの開放、未就園児の会「しょうえいであそぼうよ」、ショートステイなどを行い、園を広く知ってもらう。	6	5			・知ってもらう機会が増えたように思う。	・よくできていると思います。
		日常の教師間の連絡体制	1	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・何かあった時、すぐに聞いたり伝えるようにした。 ・時々伝達がうまくいっていないので、気を付けたい。 ・土曜日保育利用児の保育時間や連絡先の確認をしたい。 ・人数が増え、全部伝わりづらかったように思うので、今後補佐も週1で教師会等できればいいと思う。 ・こども園となり、教師も増え、0～5才になったので連絡体制をもっとスムーズに工夫したい。 	・新しく認定こども園になったので、連絡体制を確立していってほしいと思います。